

ZENBUTSU

全仏



No.
495

仏暦2547年 1月
[2004年]



CONTENTS

新春のご挨拶——「新年にあたって」 大谷光真会長
「一如和合への報謝」 森和久理事長

報告——理事会・常務理事会開催
財政検討委員会答申
教化セミナー・都道府県仏教会代表者会議開催
税務研究会「宗教活動の公益性について」講演 島藺進氏
(財)日本宗教連盟主催「宗教と税制シンポジウム」
(財)国際仏教興隆協会記念式典
事務総局録事



財団法人 全日本仏教会

Japan Buddhist Federation

世界仏教徒連盟(WFB)日本センター
Japan Regional Center of World Fellowship of Buddhists

新年にあたって

一如和合への報謝



会長

大谷 光真

新しい年の初めにあたり、ご挨拶申し上げます。

混迷を続ける世界情勢国内情勢にあつて、全日本仏教会加盟諸団体の皆様には自行化他・仏法弘通にご精進のこと、まことに有り難く存じます。

今日の日本では、人間が壊れつつあるのではないかと感じさせられます。生きる喜びがない、他の人が自分と同じ人間であると感じられない、いのちの尊さがわからないといった人々が増え続けています。外国での戦争にも自分の利害以外の関心が乏しいようです。我々仏教徒の使命は大きいものがあります。

一方、伝統仏教教団は、その社会的存在基盤が揺らいできたように思われます。少子高齢化・人口移動・核家族

化等により檀家制度・仏事の伝承が崩れています。今、その対応を怠れば、

生き残る寺院・教団は僅かではないかと恐れを感じます。寺院と檀信徒をはじめ周囲の人々との暖かい心の触れ合いや繋がりがなにより大切ではないでしょうか。

より多くの人々が、仏法に遇い、他のいのちの輝きを見聞して、喜びを感じ、他人の不幸を知って、おのれの悲しみとすることができる世の中にしていきたいものです。

会長任期はあと僅かとなりました。暖かく支えて下さいました関係者の方々に感謝申し上げますとともに、今後とも皆様が本会の活動に、ご協力ご参加くださいますようお願い申し上げます。



理事長

森 和久

本会加盟の宗派・都道府県仏教会等に所属される全国七万余の御寺院におかれましては、平素本会の仏教文化宣揚と平和推進への諸事業に格別の御協力を賜っておりますこと厚く御礼を申し上げますと共に、甲申の新年をつつがなく迎えられましたこと心より御慶び申し上げます。

平成十四年一月三十一日開催の理事会・評議員会においてご縁をいただき、第二十五期の理事長に選出されましてより早いもので二年の歳月が過ぎようとしております。

もとより浅学非才にして、任の重さに忸怩たる思いでございましたが、御陰様にて役員御一同の御法愛をいただき全一仏教運動の諸事業の推進に、大過なく進歩の精進努力を重ねさせていただきますこと大変ありがたく存じております。

政治・経済・教育・環境・人権・宗教等に関する諸案件が、国内はもとより世界的な大問題となっており、仏教界は勿論のこと、あらゆる宗教が垣根をとりさり、人心の荒廃や人類滅亡の危機に際し、早急の対応をしていくことが肝要と思われまます。本会でも宗派や団体の違いをのりこえ、一如和合の諸事業推進にむけ、規約・機構・事業・財政等の改革に第一歩をふみだした

ところでございますので、今後共何卒御激励いただけます様切に御願ひ申し上げます。

理事長在任中のご指導ご鞭撻に深く御礼を申し上げますと共に、本会のさらなる発展のため、倍旧の御支援を重ねて御願ひ申し上げます。

合掌

本会主催教化セミナー

寺院運営の税金の実務と最近の税務の諸問題

十一月二十六日、品川・ホテルパシフィック東京で本会主催の教化セミナーを開催した。「寺院運営の税金の実務と最近の税務の諸問題」をテーマに、長谷川正浩本会顧問弁護士と税理士の大埜治仁氏が講演した。はじめに大埜治仁氏が「我が国の税務行政を廻る諸問題」税務調査について考える」と題し講演し、税務行政の現況について、①通達行政の弊害、②わが国の税法固有の問題、③税務調査への対応、④質問検査権の限界（納税者はなぜ税務調査をうけなければならないか）、⑤現行税



講演する大埜治仁氏

法の事後救済手続き（異議申し立て）について説明された。

また、顧問先の寺院で起こった先代住職の葬儀並びに歴代住職墓碑建立についての税務調査に関する経緯とその問題点を述べ、続いて当日臨席された当該寺院住職より、詳細な説明がされた。

続いて、長谷川正浩師が法人税の不課減免について具体例を踏まえ以下の要旨で講演した。宗教法人は、宗教活動と公益事業、公益事業以外の事業をすることが認められており、宗教活動・公益事業については非課税である。公益事業以外の事業の内、三十三種に対し法人税を課税することになっている。

最近の事例として、①犬猫霊園と倉庫業、②席貸業と葬祭場、③墓石のバックマージンと周旋・代理・仲介業のそれぞれについて課税庁の見解とその問題点の説明があった。

加盟団体より約九十名の参加者が熱心に聴講に訪れた。

都道府県仏教会代表者会議開催 ●全日本仏教会会議開催に向け意見交換

十一月二十六日、ホテルパシフィック東京で都道府県仏教会代表者会議が開催された。

仏教徒の歌「ああ、このよるこび」斉唱。森和久理事長導師のもと三帰依文唱和、理事長挨拶。互選により萩野映明（財）埼玉県佛教会専務理事が座長に選出され、議事に入った。

協議事項

一、第三十九回全日本仏教会会議開催について

前回は新潟・長岡で全日本仏教会会議が開催された。出席の新潟県仏教会より、開催が大変有意義であり組織強化に役立つ点が述べられた。続いて開催地・方法について出席者により活発な意見交換がなされた。

その結果、全国各地をブロックに分け（一例として①北海道・東北、②関東、③甲信越・中部・北陸、④近畿、⑤中国、⑥四国、⑦九州・沖縄）順番に開催を担当していく案。

また今後、当初は隔年で、そして将来、毎年開催が可能になるよう準備を進めることが了承された。

また次回開催地については、個別に折衝を続けることになった。

報告事項

①、ルンビニー園復興事業の現状について

渡邊宗徹国際文化部長より、ルンビニー園復興事業（マヤ堂考古学調査最終報告書作成）の現状について報告。また篤志勧募への協力が呼びかけられた。

②、岐阜県仏教会「こころの日」推進運動について

岐阜県仏教会の寺町研山会長より、昭和六十三年の第三十三回全日本仏教会会議岐阜大会での、四月八日釈尊降誕の日を「こころの日」として国民の祝日にとり決議に基づき、運動を継続していることが報告された。現在、毎月八日をハートフルデーとして、運動を継続拡大している旨が説明され、協力が要請された。

③、事務局各部報告

担当部長より報告された。
※終了後、懇親会が開催された。

理事会開催

十二月二十日午後一時半より、東京グランドホテルで理事会が開催された。仏教徒の歌「ああ、このよろこび」斉唱、森和久理事長導師のもと三帰依文を唱和。森理事長を議長に、議事録署名人に、安藤正晃（孝道教団）・升巴隆夫（北海道仏教会連盟）の両師を選出し議事に入った。

●議案第一号「財政検討委員会答申」の承認を求める件



挨拶する森和久理事長

森議長より上程。瀬古眞隆財政検討委員会委員長及び、宮川宏生財務部長が経過及び答申内容を説明。平成十六年度の負担金据え置き、並びに今後、負担金を含め、規約・機構・事業・財政等を検討していく委員会を常設することが承認された。

（六頁に答申を掲載）

●議案第二号「改革推進委員会（仮称）の設置及び委員会規定」の承認を求める件

小林正道事務総長が、議案第一号承認に伴ない、「改革推進委員会（仮称）の設置及び委員会規定」についての審議を提案し了承された。櫻井英幸総務部長が、委員会の趣旨、委員会規定（案）を説明。承認された。

●議案第三号「平成十六年度予算編成の基本方針」の承認を求める件

宮川財務部長より説明。承認された。

●議案第四号「ルンビニー委員会規定一部変更」の承認を求める件

渡邊宗徹国際文化部長が、次期からの評議員の選出方法・人数改定に伴い、

ルンビニー委員会委員の選出基準（現行は評議員より選出）を一部変更する必要性を説明。承認された。

●議案第五号「第二十六期以後の人事に関する申し合わせ（案）」の承認を求める件

櫻井総務部長が説明。承認された。

●議案第六号「第二十六期評議員（学識経験者三名）推薦」の件

櫻井総務部長が、世界仏教徒連盟（WFB）、（財）日本宗教連盟へ、本会の立場をより明確にするための理事等役員の継続的派遣、並びに加盟団体諸事業への参加および渉外担当として、重任できる方を学識経験者枠として評議員に推薦することを要請。承認された。

報告事項

一、国政選挙における候補者推薦報告
 壽山良光社会部長より、第四十三回衆議院選挙における候補者推薦の結果について報告。理事会決定により理事長一任の下、仏教文化の宣揚に理解・

協力頂ける方を基準に加盟団体からの推薦を軸に百十九人を推薦。九十八人が当選した。

二、適切な宗教教育実現のための教育基本法第九条改正推進特別委員会報告

壽山社会部長より、十月二十四日開催された第三回委員会について報告。

三、ルンビニー園復興事業報告

渡邊国際文化部長より、ルンビニー園復興事業（マヤ堂考古学調査最終報告書作成）の現状について報告。

四、宗教法人審議会報告

小林事務総長より、十月一日に開催された本年度第二回宗教法人審議会会議について報告。

五、沖縄・袋中上人来琉四百年記念法要報告

櫻井総務部長より説明。袖山榮真本会常務理事（同法要実行委員長）より、参加と協力の依頼がなされた。

六、前進座（鑑真）里帰り公演報告

小林事務総長より、加盟団体各位の協力のもと公演が終了した旨を報告。

七、(財)日本宗教連盟主催 第二十回 宗教と税制シンポジウム報告

長谷川正浩本会顧問弁護士より、十一月十八日午後一時半から神社本庁で開催されたシンポジウムについて報告。(十六頁に掲載)

八、事務総局各部報告

①「第十九回国際宗教学宗教史会議世界大会へのご協力の要請」、平成十七年三月二十四日より七日間東京で開催。

②今後の会議日程

・十二月四日 第二十六期会長・副会長推戴委員会
・十二月十八日 常務理事会
・一月末 評議員会・理事会・新年懇親会

③税務研究会開催

十二月三日午後一時半より、照明会館会議室にて。講師、島蘭進氏(日本宗教学会会長・東京大学教授)(七頁に掲載)

④第十五回加盟団体責任者同和研修会 (人権啓発研修会) 開催

平成十六年二月六日午後一時より、真言宗豊山派宗務所大講堂にて。講演五木寛之氏(作家)

⑤同和委員会及び同和推進部の名称変更について

現在委員会で検討中。今年度中に答申が提出される予定。

⑥「全仏だより」掲載依頼の件

十一月十五日付、加盟団体宛掲載依頼文と原稿を発送済。

⑦教化セミナー開催

十一月二十六日午後〇時半より、ホテルパシフィック東京で。テーマ「寺院運営における税金の実務と最近の税務の諸問題」。

⑧都道府県仏教会代表者会議開催

十一月二十六日午後二時四十五分より、ホテルパシフィック東京で開催

⑨仏教NGOネットワークより依頼の件

バン格拉デイシユ、チッタゴン丘陵地帯、マハルチャリ襲撃事件被災者への支援を要請。

⑩国際仏教興隆協会財団設立三十五周年及びインド山日本寺開山三十周年記念祝賀会参加報告。

十一月十日、京都全日空ホテルで開催。

⑪世界仏教徒連盟(WFB)パロップ事務総長来局。

十月二十三日、本会事務総局。

⑬ヴァチカン教皇就任祝賀会出席

十月二十二日、東京・ヴァチカン教皇庁大使館。

※本理事会は監事・評議員・各種委員の傍聴許可の下行われた。

また、理事会終了後、記者会見が行われた。

常務理事会開催

十一月五日午後一時半より、ロイヤルホテル京都で常務理事会が開催された。仏教徒の歌「ああ、このよるこび」斉唱、森和久理事長導師のもと三篇依文を唱和。森理事長を議長に、議事録署名名人に、石上智康(浄土真宗本願寺派)・小林照宥(真言宗智山派)の両師を選出し議事に入った。

協議事項

一、「財政検討委員会答申」の件

森議長より、十月三日付で、財政検討委員会最終答申が瀬古眞隆委員長より、理事長宛提出された旨報告。

瀬古眞隆委員長より経過説明、宮川宏生財務部長より内容説明。意見交換の後、十一月二十日開催の理事会に理事長より上程することを承認。

二、平成十六年度予算編成の基本方針の件

宮川財務部長より説明。承認された。三、ルンビニー委員会規程一部変更の件

櫻井英幸総務部長より説明。承認さ

れた。

四、第二十六期の理事長・常務理事・理事・監事・各種委員会委員選任方針の件

櫻井総務部長より、前回常務理事会で賛同を得た、「第二十六期以後の人事に関する申し合わせ(案)」に沿って、具体的な説明がなされた。協議の後、一部修正し理事長に一任すること大意された。

報告事項

一、国政選挙における候補者推薦報告
二、適切な宗教教育実現のための教育基本法第九条改正推進特別委員会報告

三、ルンビニー園復興事業報告

四、宗教学人審議会報告

五、前進座(鑑真)里帰り公演報告

六、事務総局各部報告

※各担当部長より報告された。内容詳細については理事会記事参照。

財政検討委員会 答申

●理事会で承認される

平成十四年七月の理事会決定に基づき、本会の今後の方向性や事業・財政全般を検討するため設置された財政検討委員会（瀬古眞隆委員長）では、中間答申を同年十月二十四日付で森和久理事長宛に提出。本年十月三日付森理事長に左記のとおり最終答申を行い、十一月二十日の理事会で承認された。

一、財務に関すること

◎負担金について

①平成十六年度（以降）の負担金について昨今の社会経済状況と本会の会計現況を勘案し、平成十六年度の負担金については、据え置きとすべきである。

②負担金については、本会の財政の根幹を成しているため、二年ごとに負担金の算出要素や単価等の見直しを行うことが望ましい。

③負担金が重荷になってきている加盟団体が、本会から脱会に至るケースが見うけられるので、現行の「負担金未納加盟団体の取り扱いに関する

規程」については加盟団体の体面を考慮した条文にすべきである。

④「負担金未納加盟団体の取り扱いに関する規程」については、未納加盟団体の取り扱いに限らず②③の事項を考慮して負担金全般の取り扱いを規定すべきである。

◎助成金等の検討

◎事務総局（出向職員）の給与について
出向職員（部長・次長）の任期は一期二年で、給与はこの間固定化しており、以後重任した場合でも同様になっていくが、今後本会の事業を強力に推進していくためには、事務総局員は二期乃至三期と継続して出向される体制を構築していく必要がある。そのためには年功を考慮した給与体系も一考を要す。

二、事業並びに事務総局の体制について

◎組織強化

①広報の拡充

本会は平成十九年に財団設立五十周年を迎えるが、寺院・僧侶等仏教界をはじめ一般的にも知名度が低く、また事業の内容を充分理解されていないケースや、関心の薄い加盟団体の事務総局において広報拡充のため、機関紙「全仏」誌の紙面刷新やホームページの充実化、東西評議員懇談

会の開催等新たな取り組みも見られるが、浸透するまでには時間を要するので、継続して更なる方途も講じることが望まれる。

②非加盟団体への加盟促進

仏教界を取り巻く現況は、大変厳しい時代を迎えている。この難局を乗り切る上で加盟団体の結束を深めるとともに、非加盟の宗派・仏教会、県仏未結成の地域仏教会などへ加盟を呼びかけ一層の組織強化を図るべきである。

③加盟団体の行事への協賛ならびに出向

加盟団体の行事への協賛ならびに出向については、全日本仏教会に積極的な対応を要望する。このことは事務総局の体制にも関連するが、関西事務局との連携を深めていく等の対策を望む。

◎加盟団体が望まれる事業の充実化

加盟団体が本会に望む事業を要約すると次の四点が挙げられる。
・ 宗教法人を取り巻く諸問題対策
・ 加盟団体共通の課題
・ 行政官庁との関係強化
・ 国際交流の促進

本会の存在意義でもあるこれらの事業をより充実化するため、寄付行為の見直しも視野に入れ、機構並びに財政等全般に亘って検討する常設の委員会設置が望まれる。

◎事務総局の体制

①機構改革

現行の事務総局の体制において出向職員（部長・次長）十名で五部制（総務部・財務部・同和推進部・社会部・国際文化部）では、部署によって事務量が偏るなどの問題があり、非効率的であると思われる。現行の事務総局を五部制から三部制に改めることにより、より効率的な事務体制が執れると考えられる。

②日本宗教連盟等の役員就任について

日本宗教連盟（神社本庁、日本キリスト教連合会、新日本宗教団体連合会、教派神道連合会と本会とで構成）は、行政官庁が宗教界の窓口として認識しており、また、世界仏教徒連盟（WFB）は世界百四十余の地域センターが加盟し、本会が唯一日本のセンターとして加盟しており、当会の事業を推進する上でいずれも対外的に重要な団体である。

本会の役員就任においては任期二年で、他団体に比較して短期間で替わるため、積極的な発言ができる環境がとれにくい状況にある。

このため役員就任については、理事長・事務総長にこだわらず常務理事等人選の幅を広げて対応することが望ましい。

以上

本会税務委員会主催 税務研究会

「宗教活動の公益性について」 講師 島蘭 進 (東京大学教授)

十二月三日、明照会館会議室で税務委員、各宗派研究機関から十五名が出席し、税務研究会が開催された。

小林正道事務総長導師のもと三帰依文唱和。続いて中條令紹委員長、小林事務総長が挨拶を行った。税務研究会は、政府による公益法人改革が進められている中、「宗教活動の公益性」について研鑽すべく開催された。政府は、平成十六年十二月までを目途に基本的枠組みを具体化した上で、所管省にお



講演する島蘭進東京大学教授

いて税制上の措置に係わる専門的検討を進め、平成十八年三月までに法制上の措置を講ずることを目指している。このことは、加盟団体及び傘下の宗教法人の税制にも少なからず影響を及ぼすと推量される。

現在の状況をふまえ、講師の日本宗教学会会長、東京大学教授の島蘭進氏が『宗教活動の公益性について』と題し、宗教史的な観点から①宗教の公益性と私事化を廻って、②宗教の公益性格の変化、③現代における宗教集団の公的機能について講演した。

①の中で、宗教の地位が近代社会において変化し、宗教が担う領域が狭められ、社会に対する影響力が弱くなった。その結果、一九七〇年代以降各教団が競い合い、世俗化が進んだ。殊に政教分離理念が叫ばれるほどに公的な場面で宗教の不介入が社会的に容認されるようになった。しかし、宗教の公的機能は失われることなく、公葬や公的追悼行事、チャプレン(病院や軍隊

における精神的ケア)、ホスピス、生命倫理、宗教集団の社会活動などの中に活かされている。ただ、「宗教」と「宗教集団」を同義に扱うことは問題であり、今後は宗教と宗教法人の公益性を考えると共に、宗教法人の位置づけを再考することが必要。宗教法人の公益性を考える上で、宗教法人がその構成員である宗教者の利害に根ざすことは、公益性や社会貢献の見地からいかなものかと提起された。

②の中では、近代化以前の伝統的社会で多くの人々が当然と受け取ってきた宗教的価値(イコール精神的価値)に変化がみられる。文明の進歩からは、宗教の存在が必ずしもプラスと捉えな

い啓蒙主義の考えを示す立場が存在した。③では、宗教のもつ政治的機能とそれへの反対意見や行動が明示され、社会に共有される価値への貢献が見えず、また宗教の持つ加害性、排他性、布教という拡張主義等の公害性が存在する。一方、学校・病院や慈善活動の中に宗教との繋がりが多くみられる。公益性を考えるには、これらの問題を合わせて考える必要がある。と一時間に亘って講演された。

講演後、座長に中條委員長、講師の島蘭氏、長谷川正浩顧問弁護士に出席者からの具体的質問と活発な協議がなされた。

ルンビニー園マヤ堂修復事業 篤志支援者ご芳名

現在、本事業大詰め作業である「マヤ堂遺跡考古学発掘調査最終報告書」の発刊等に鋭意努力しております。

長期に亘る難事業推進のため、事業資金が千五百万円程不足を来しております。誠に恐縮ですが有縁の皆様方に今後の事業資金のご支援を切にお願い申し上げます。

- 全昌院 安達良元様 金、七万円 (計十万円)
- 愛知県仏教会様 金、五十五万円
- 西有寺 横山敏明様 金、三十万円 (計百三十万円)
- 大林寺 佐々木孝一様 金、十万円
- 蓮馨寺 桑原恒久様 金、五十万円
- 信松院 西村輝成様 金、十万円 (計百十万円)
- 泰宗寺 旗本宏昌様 金、十万円
- 浄運寺 野口善教様 金、五万円 (計十五万円)
- 山梨県仏教会様 金、五万円

(十一月十三日～十二月八日 受付順)

※篤志の振込先口座番号

(郵便局) 〇〇一三〇一六一三七六〇〇

加入者名 財団法人 全日本仏教会

※ルンビニー園復興協力金と明記下さい。

(銀行口座) 三井住友銀行浜松町支店

普通預金口座 七七〇三五八

口座名義 財団法人 全日本仏教会

※振込手数料を差し引いてお振込下さい。

●本件に関するお問い合わせ

(財)全日本仏教会事務総局 国際文化部

電話 〇三三四三七一九二七五

年 新 賀 謹

曹洞宗宗務庁

管 長 大道 晃 仙

宗務 総長 有田 惠 宗

参 議 松原 太 流

参 議 藏山 光 堂

教学 部長 渊 英 德

総務 部長 佐藤 良 彦

教化 部長 宮川 敬 學

人事 部長 乙川 暎 元

伝導 部長 市河 雄 峰

財務 部長 河村 松 雄

出版 部長 荒澤 義 範

東京都港区芝二一五一—二

〒105-8544 ○三(三三四五)四四一—

http://www.sotozen-net.or.jp

浄土真宗本願寺派

総 長 不二川 公 勝

総 務 松原 功 人

総 務 出口 湛 龍

総 務 竹田 空 尊

総 務 速水 宗 讓

総 務 下川 弘 暎

総局 公室長 藤田 誓 之

京都市下京区堀川通花屋町下ル

〒600-8501 ○七五(三七)五一八一—

F A X ○七五(三五)一一二一一—

真宗大谷派

宗務 総長 熊谷 宗 惠

参 務 安原 晃

参 務 藤野 護

参 務 杉浦 義 孝

参 務 下谷 泰 史

参 務 同和推進本部長 竹田 惠 示

京都市下京区烏丸通七条上ル

〒600-8505 ○七五(三七)九一八一代表

浄土宗

浄土 門主 中村 康 隆

宗務 総長 水谷 幸 正

総務 局長 福嶋 照 純

教学 局長 岡本 宣 丈

財務 局長 曾和 義 雄

社会 国際局長 松本 眞 岳

文化 局長 入西 勝 彦

総長 公室長 宗祖 法然上人 八白美 遵掌 務長 豊岡 鎌 尔

人権 同和室長 浅野 義 光

職 員 一 同

浄土宗宗務庁

京都市東山区林下町四〇〇一八

〒605-0062 ○七五(五二五)二二〇〇代

F A X ○七五(五二二)五一〇〇五

東京都港区芝公園四一七一—四

〒105-0011 ○三(三四三三)三三五一—代

F A X ○三(三四三四)〇七四四

http://www.jodo.or.jp

日蓮宗宗務院

管 長 藤井 日 光

宗務 総長 岩間 湛 正

伝道 局長 藤崎 一 明

総務 局長 栗原 正 震

伝道 部長 田端 義 宏

教務 部長 三坂 恵 人

総務 部長 小倉 光 雄

財務 部長 中條 令 紹

宗務 総長 遠藤 文 祥

立教 開宗七百五十 年 慶 議會 事務 局長 田澤 元 泰

現代 宗教 研究 所 長 久住 謙 是

参 与 堀江 宏 正

参 与 浅井 玄 裕

東京都大田区池上一—三二一—一五

〒146-8544 ○三(三七五)一七一八一—

F A X ○三(三七五)一七一八一—

http://www.nichiren.or.jp/

年 新 賀 謹

總本山金剛峯寺
高野山真言宗務所

座長 資延敏雄	執行總長 土生川正道	執行總長 真田有範	執行總長 岩坪真弘	執行總長 高岡隆州	執行總長 高岡隆州	執行總長 篠田光海	執行總長 高橋智運	執行總長 佐々木弘傳	執行總長 佐々木兼俊	執行總長 富家海信	執行總長 倉岡弘叔	執行總長 壽山良知
------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------------	--------------

臨濟宗妙心寺派

管長 西片義保	宗務總長 細川景一	總務部長 松井宗益	教學部長 宮田正勝	財務部長 瀨古眞隆	本部園長 鈴木眞道	法務部長 津田清章	花園園長 松井宗益
------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

天台宗務庁

天台座主 渡邊惠進	宗務總長 西郊良光	總務部長 工藤秀和	法務部長 稲岡慈順	財務部長 久保智尚	參事部長 小堀光實	參事部長 秦順照	參事部長 壬生照道
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	--------------

真言宗智山派宗務庁
總本山智積院法務所

化管主長 宮坂宥勝	宗務總長 小林照宥	總務部長兼 教學部長 原弘隆	教化部長 御嶽隆英	法務部長 金剛照欣	財務部長 芙蓉良英	宗務出張所長 別院執事 鈴木中也
--------------	--------------	----------------------	--------------	--------------	--------------	------------------------

真言宗豊山派宗務所

管長 川田聖定	宗務總長 大塚惠章	總務部長 鴫見秀	教化部長 根岸榮宏	教務部長 鈴木道雄	財務部長 横山裕教	教化センター長 菅野秀浩	真言宗豊山派総合研究院 院長 加藤精一
------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-----------------	------------------------

和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
〒648-0294 〇七三六(五〇)二〇一一
FAX 〇七三六(五六)四六四〇

京都市右京区花園妙心寺町六四
〒616-8035 〇七五(四六三)三二二一
http://myoshin.com/

大津市坂本四丁目六番二号
〒520-0113 〇七七(五七九)〇〇二二
FAX 〇七七(五七九)二五一六

京都市東山区東大路七条下ル
東瓦町九六四
〒605-0951 〇七五(五四)五三六一

東京都文京区大塚五―四〇―八
〒112-0012 〇三三(九四五)〇六三九

年 新 賀 謹

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管 主長 麻生文雄

執務総長 仲田順和

執務部長 岡田祐雄

執務部長 田村照晃

執務部長 壁瀬宥雅

京都市伏見区醍醐東大路町二二一
〒601-1325 〇七五(五七)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七)三九三九

総本山仁和寺
真言宗御室派

管門 長跡 佐藤令宜

執務総長 中井龍照

執務部長 大塚聖純

執務部長 宮本光研

執務部長 打田祐善

京都市右京区御室大内三三三
〒616-8092 〇七五(四六)一一五五
FAX 〇七五(四六)四〇七〇
http://www.ninajior.jp
E-mail: office@ninajior.jp

西山浄土宗
総本山光明寺

法管 主長 岩田文有

執務総長 柴田康英

内局 一同

京都府長岡京市粟生西条ノ内二六一一
〒617-0811 〇七五(九五)〇〇〇二
http://www.komyo-ji.com

黄檗宗大本山萬福寺
黄檗宗宗務本庁

管 長 仙石泰山

宗務総長 赤松達明

財務部長 秦旭光

庶務部長 中澤元重

執務部長 荒木将旭

京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
〒611-0011 〇七七(四三)三九〇〇
FAX 〇七七(四三)六〇八八

聖観音宗 浅草寺

貫 首 清水谷孝尚

執事長 小岩井貫承

東京都台東区浅草二一三一一
〒111-0032 〇三(三八)四二〇一八一
FAX 〇三(三八)四五六九三三

孝道山 本仏殿

統 理 岡野正貫

副統理 岡野鄰子

副統理 岡野正純

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 〇四五(四三)一一〇一

真言宗大覚寺派
大本山 大覚寺

管門 長跡 片山宥雄

宗務総長 坂口博之

京都市右京区嵯峨大沢町四
〒616-8411 〇七五(八七)〇〇七一
FAX 〇七五(八八)四九一一

真言宗須磨寺派
大本山須磨寺

貫 主 小池弘三

寺務長 吉井恵貫

神戸市須磨区須磨寺町四一六一八
〒654-0071 〇七八(七三)〇四一六

念法眞教教団
総本山金剛寺

大阪市鶴見区緑三十四一三二一
〒538-0054 〇六(六九)一一二一〇一

年 新 賀 謹

融通念佛宗
総本山大念佛寺

法管 主長 白井 慈 勲

寺務総長 山田 隆 章

法教学部長 辻 康 彦

庶務部長 久保 良 方

財務部長 塩野 善 彬

大阪市平野区平野上町
〒547-0045 〇六(六七九)〇〇二六
一七二二六

信貴山真言宗
総本山朝護孫子寺

管 長 鈴木 鳳 永

前管長 田中 真 瑞

宗 務 長 鈴木 貴 晶

寺 務 長 野澤 密 孝

奈良県生駒郡平群町信貴山三八〇一
〒636-0923 TEL 〇七四五(七)二七七
FAX 〇七四五(七)二七七

妙見宗々務本庁

管 長 野間 秀 昭

宗 務 総 長 九野 純 孝

大阪府豊能郡能勢町野間中七一八
〒563-0132 〇七二(七三七)〇〇二八
FAX 〇七二(七三七)一八五八

真言三寶宗
大本山清澄寺

法管 主長 坂本 光 謙

宗 務 長 藤本 淨 海

鐵齋美術館 村越 英 明

宝塚市米谷字清シ一番地
〒665-0837 〇七九七(八六)六六四一
FAX 〇七九七(八六)六六四〇
<http://www.kiyoshikoin.or.jp>

本門佛立宗
本山宥清寺

講 有 野崎 日 丞

宗 務 総 長 山内 日 開

本山宥清寺
〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇代
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上
東堅町一〇番地
TEL 〇七五(四六)一六六代
FAX 〇七五(四六)五五九九

真言宗犬鳴派
大本山
犬鳴山七宝瀧寺

貫管 主長 東條 仁 哲

大阪府泉佐野市大木八番地
〒598-0023 〇七二四(五九)七二〇一
FAX 〇七二四(五九)七二〇一

時宗
総本山清浄光寺(遊行寺)

法 主 加藤 円 住

神奈川県藤沢市西富一八一一
〒251-0001 〇四六六(二三)七二七六

真言宗国分寺派

管 長 丸山 雙 誉

大阪府北区国分寺一六一一八
〒531-0064 〇六(六三五)五六三七
FAX 〇六(六三五)五六四七

新義真言宗

東京都文京区湯島四六一二二
湯島ハイタウンB一二二一
〒113-0034 〇三三八(一四)三四六四

臨濟宗円覚寺派

大本山 円 覚 寺

鎌倉市山ノ内四〇九
〒247-0062 〇四六七(二二)〇四七八

真言宗中山寺派

大本山 中山 寺

宝塚市中山寺二丁目十一一
〒665-8588 〇七九七(八七)〇〇二四
FAX 〇七九七(八七)九八七七
<http://www.nakayamadera.or.jp>

年 新 賀 謹

<p>京都市左京区岩倉幡枝町九十一 〒606-0015 〇七五(七九)七一一七 FAX 〇七五(七九)七二六七</p>	<p>社会部長 多門 顕正</p>	<p>教務部長 桑村 信慶</p>	<p>布教部長 早川 義正</p>	<p>財務部長 藤崎 行学</p>	<p>庶務部長 島田 幸晴</p>	<p>宗務次長 渡辺 昭夫</p>	<p>宗務総長 中村 通義</p>	<p>管 長 中山 日暁</p> <p>顕本法華宗</p>	
<p>さいたま市浦和区高砂 四一三三一八 〒330-0063 〇四八(八六)二二三八 FAX 〇四八(八六)六六四九 http://saibutu.net/</p>	<p>同 小久保 隆福</p>	<p>同 穂山 教雄</p>	<p>同 藤田 得三</p>	<p>常務理事 腰塚 麟也</p>	<p>専務理事 萩野 映明</p>	<p>同 勝山 良盛</p>	<p>副会長 目黒 靖淳</p>	<p>会 長 酒井 文雄</p> <p>財団法人 埼玉県佛教会</p>	
<p>事務局 大阪市住吉区墨江三十七一八 〒558-0043 〇六(六六)七三二五九 FAX 〇六(六六)七三三〇〇四 大圓寺内</p>	<p>事務局長 井桁 雄弘</p>	<p>同 細井 光道</p>	<p>同 麻生 弘道</p>	<p>同 辻本 戒雲</p>	<p>同 北村 日照</p>	<p>副会長 北村 日照</p>	<p>会 長 増田 貞圓</p>	<p>大阪府仏教会</p>	
<p>松山市土居町一〇五九 万福寺内 〒791-1115 〇八九(九五)七三四二</p>	<p>同 挟間 敬宗</p>	<p>副会長 神野 龍幸</p>	<p>会 長 吉川 俊宏</p>	<p>愛媛県仏教会</p>		<p>岐阜市西野町三一 岐阜西別院在会所西側入口 〒500-8882 〇五八(二六)七八〇三 FAX 〇五八(二六)七八〇三 http://dukkyogifune/</p>	<p>理事 長 杉山 令憲</p>	<p>会 長 寺町 研山</p> <p>岐阜県仏教会</p>	
<p>茨城県行方郡北浦町繁昌 〒311-1712 〇二九(一三)二八二七</p>	<p>同 醍醐 隆賢</p>	<p>同 寺内 泰俊</p>	<p>副会長 奥田 俊亮</p>	<p>会 長 菌部 栄重</p>	<p>茨城県仏教会</p>		<p>同 水谷 修夫</p>	<p>副会長 大谷 昭世</p>	<p>会 長 雲井 世雄</p> <p>兵庫県仏教会</p>

年 新 賀 謹

京都府仏教連合会

理事長 不二川 公勝
理事 熊谷 宗恵
理事 吉田 孝導
同 細川 景一
同 小林 照宥
同 仲田 順和
同 杉若 恵隆
同 野原 泰見
同 柴田 康英
同 桃井 晋城
同 吹田 良忠
同 大橋 忍彦
監事 畔柳 正顕
同 豊田 元彦
事務総長 中村 澄枝

京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺門前町
浄土真宗本願寺派宗務所内
〒600-8501 〇七五(三七)五一八一

神奈川県仏教会

会長 横山 敏明
副会長 本間 孝康
同 倉田 隆常
同 松蔭 英龍
同 斉藤 隆法
事務局長 和田 大雅

横浜市中区大平町九六 西有寺内
〒231-0859 〇四五(六六)〇一六六

新潟県仏教会

会長 中村 啓識
副会長 小林 明雄
同 春日 浩三
同 春日 教雄
同 高橋 英文
事務局長 小林 秀徳

長岡市上田町二二五 徳聖寺内
〒940-0074 〇二五八(三三)一五八六

福島県仏教会

会長 佐藤 智仙
専務理事 三宅 俊達
事務局長 中條 貫道

福島市宮代字北口二三 泉性院内
〒960-0116 〇二四(五五三)〇四六二

東京都仏教連合会

会長 岡本 永司
理事長 大谷 博通
事務局長 垣内 善勝

東京都葛飾区柴又六十七 二丁目
万福寺内
〒125-0052 〇三(三六五七)四五八八
FAX 〇三(三六五七)八五六三

愛知県仏教会

会長 近藤 真道
副会長 玉井 康之
同 吉田 教行
同 岡島 博司

日進市岩崎合一 一二四〇
観音寺内
〒470-0135 〇五六(一七)三二五八

財団法人 国際仏教興隆協会

印度山日本寺
主 中村 康隆
理事長 山田 一眞
事務総長 日下 悌宏
役員 一同

東京都目黒区中目黒五十二 四一五三
〒153-0061 〇三(三三七)一七六〇八
FAX 〇三(三三七)一七六七三

年 新 賀 謹

京都仏教会

会長 東伏見 慈治
 理事長 有馬 頼底
 常務理事 荒木 元悦
 同 宮城 泰年
 同 平野 暎哉
 理事 大島 亮準
 同 大西 真興
 同 江上 泰山
 同 安井 攸爾
 同 森 泰長
 同 佐伯 快勝
 監事 山木 康稔
 同 月沢 泰信
 事務局 長 沢 香静

京都市上京区今出川通烏丸東入
 相國寺門前町六八四―一
 〒602-0898
 FAX 〇七五(二三三)六九七五
 〇七五(二三三)六九七六

社団法人 全日本仏教婦人連盟

名誉会長 鷹司 誓玉
 会長代行 大賀 美都子
 副会長 末廣 久美
 理事長 島田 喜久子
 副理事長 高井 伸子
 事務局 長 林 恵智子

東京都渋谷区千駄ヶ谷
 四一五―九一―F
 〒151-0051
 FAX 〇三(五七七二)〇六七七
 〇三(五七七二)〇六七七

財団法人 仏教伝道協会

会長 沼田 智秀
 理事長 信楽 峻磨
 理事 梶山 雄一
 同 高崎 直道
 同 福山 諦法
 同 永野 健
 同 高島 孝範
 監事 林 行雄
 同 中野 東禪

東京都港区芝四―三十一―四
 〒108-0014
 〇三(三四五五)五八五一

北海道仏教会連盟

会長 升巴 隆夫

札幌市中央区北三条西十九丁目二―一
 浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内
 〒060-0003
 〇一一(六一)九六二三

鳥取県仏教連合会

鳥取県西伯郡淀江町淀江二四五
 〒689-3402
 〇八五九(五六)二五三五
 精明寺内

全日本仏教青年会

理事長 羽生 裕彦

東京都世田谷区喜多見五十九―二
 知行院内
 〒157-0067
 〇三(三四一七)三四五六

- 天台眞盛宗
- 金峯山修験本宗
- 天台寺門宗
- 和宗
- 真言宗善通寺派
- 真言宗山階派
- 真言宗泉涌寺派
- 東寺真言宗
- 浄土宗西山禅林寺派
- 浄土宗西山深草派
- 真宗高田派
- 真宗仏光寺派
- 真宗興正派
- 真宗木辺派
- 臨済宗南禅寺派
- 臨済宗建長寺派
- 臨済宗相国寺派
- 臨済宗東福寺派
- 法華宗本門流
- 法華宗陣門流
- 法華宗眞門流
- 本門法華宗
- 法相宗
- 聖徳宗
- 華嚴宗
- 眞言律宗
- 律宗
- 青森県仏教会
- 岩手県仏教会
- 群馬県仏教連合会
- 栃木県仏教会
- 千葉県仏教会
- 石川県仏教会
- 福井県仏教会
- 山梨県仏教会
- 山梨県仏教会
- 長野県仏教会
- 静岡県仏教会
- 滋賀県仏教会
- 和歌山県仏教会
- 島根県仏教会
- 岡山県仏教会
- 香川県仏教会
- (社)徳島県仏教会
- 高知県仏教会
- 福岡県仏教連合会
- 福岡県仏教連合会
- 宮崎県仏教連合会
- 沖縄県仏教会
- (財)日本仏教鑽仰会
- (社)徳島県仏教会
- (財)日本仏教振興協会
- (財)仏教振興財団
- 東京ブテイストクラブ
- 東京ブテイストクラブ
- 仏教情報センター

(財)日本宗教連盟主催

第二十回 宗教と税制シンポジウム
公益法人改革の現状と今後の展望

十一月十八日、神社本庁で財団法人日本宗教連盟主催の第二十回「宗教と税制シンポジウム」が開催された。

はじめに内閣官房行政改革推進事務局参事官の長屋聡氏が「公益法人改革の現状と今後の展望」をテーマに、平成十五年六月二十七日に閣議決定された「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」に添って講演した。その要旨は以下のとおりである。

①公益法人を含めた非営利法人制度を新たに創設し、準則主義即ち登記によって簡便に設立出来るようにする。その法制上のありかたを今後検討していく。

②非営利法人における公益性の中身を法定化する。そして、独立した判断主体をどこにするか。非営利法人の残余財産のありかたや情報開示、プライバシーの保護等を含めて検討していく。

③非営利法人に対する税制上の措置については引き続き検討していく。

また、現在の公益法人が非営利法人へ移行するという制度についても引き続き検討する。

今後は税制上の措置に関する専門的検討を平成十六年十二月を目途に、基本的枠組みを具体化し、平成十八年三月までに法制上の措置を目指す」と述べた。

続いて、日本宗教連盟参議の長谷川正浩師(本会顧問弁護士)が「公益法人制度改革の影響と宗教法人の課題」と題し、以下の要旨を講演した。今回の制度改革が終了すると、次は宗教法人の制度改革である。その場合、宗教法人に対しても原則課税とされる恐れがある。その場合、宗教活動自体に混乱が起こる。こうした事態を招かないために、宗教活動の公益性について議論すると同時に、質の高い宗教活動を行うことによって、社会に貢献していくことが求められていると述べた。

本会加盟団体からも多数参加され、両講師の講演に対し真剣に聞き入っていた。

(財)国際仏教興隆協会記念式典

設立三十五周年・印度山日本寺開山三十周年

十一月十日、京都全日空ホテルで(財)国際仏教興隆協会設立三十五周年・印度山日本寺開山三十周年記念式典が行われた。本会から森和久理事長、渡邊宗徹国際文化部長が出席した。

記念式典では、印度山日本寺中村



三歸依文を唱える
中村康隆竺主(中央)

康隆竺主の御垂示の後、山田一真同協会理事長が財団創立から現在に至る経緯を報告した。

続いて、協賛団体である(社)日本仏教保育協会上村映雄理事長、(社)全日本仏教婦人連盟島田喜久理事長、そして来賓を代表し、本会森理事長が祝辞を述べた。

次に、発起人を代表して川崎大師平間寺高橋隆天貫首が、祐天寺巖谷勝雄先代住職をはじめとする先人の多大の労苦を話された。

同協会にゆかりの約百名が参加し、盛会であった。

東京都仏教連合会
成道会厳修

九段会館で厳修された成道会

十二月三日、東京九段会館で東京都仏教連合会主催の成道会が開催された。本会から小林正道事務総長、壽山良光社会部長が出席した。

岡本永司東京都仏教連合会会長(真言宗豊山派護国寺貫首)を導師に法要が営まれ、高瀬廣居師(浄土宗僧侶)が「釈迦の悟りと二十一世紀の文明」と題し講演。桂小金治師匠の清興へと続き、盛会であった。

ルンビニー委員会

十一月十九日、本会会議室でルンビニー委員会が開催された。

はじめに、武田昭英委員長（浄土真宗本願寺派）の退任に伴い、委員の互選で、松原功人師（浄土真宗本願寺派）が新委員長に選出された。

続いてマヤ堂考古学発掘調査最終報告書の現況について、立正大学前学長坂詰秀一教授が、平成十六年度中の発刊にむけて、鋭意作業を進めている旨が説明された。

また、事業資金の不足（千五百万円）の為、行われている篤志勧募の現況報告がなされた。

事務総局録事

十一月（十二～三十日）

十二日 ▼事務総局局内会議

十三日 ▼英文日本仏教紹介本作業部会

▼法律相談室

十八日 ▼日宗連「宗教と税制シンポジウム」

ウム

十九日 ▼ルンビニー委員会

二十日 ▼理事会

二十五日 ▼事務総局局内会議

二十六日 ▼教化セミナー

▼都道府県仏教会代表者会議

二十八日 ▼法律相談室

▼Let's Talk Buddhism

出席

二十九日 ▼曹洞宗保育連合会創立五〇周年記念大会出席

十二月（一～十日）

一日 ▼同和委員会正副委員長会議

▼英文日本仏教紹介本作業部会

二日 ▼同和委員会

▼第二回税務懇談会出席

三日 ▼税務研究会

▼東京都仏教連合会成道会出席

四日 ▼第二十六期正副会長推戴委員会

▼薬師寺東京別院落慶祝賀訪問

▼禅文化研究所来局

五日 ▼事務総局局内会議

八日 ▼宗教教育推進懇談会

九日 ▼第二回仏教NGOネットワーク

研修セミナー（東大寺）出席

▼世界人権宣言五十五周年東京大会出席

会出席

▼東京ブレイスクラブ成道会出席

席

十日 ▼シャンティ国際ボランティア会

「有馬実成遺稿集」出版記念の集い出席

人事

就任

常務理事 不二川公勝（浄土真宗本願寺派）

評議員 松原功人（浄土真宗本願寺派）

出口湛龍（浄土真宗本願寺派）

竹田空尊（浄土真宗本願寺派）

速水宗讓（浄土真宗本願寺派）

下川弘暎（浄土真宗本願寺派）

岡本誠教（本門佛立宗）

中村謙秀（天台寺門宗）

ルンビニー委員会

松原功人（浄土真宗本願寺派）

退任

常務理事 武野以徳（浄土真宗本願寺派）

村松行善（浄土真宗本願寺派）

村上智真（浄土真宗本願寺派）

桑羽隆慈（浄土真宗本願寺派）

宮崎憲之（浄土真宗本願寺派）

寺村顕智（浄土真宗本願寺派）

高野日豊（本門佛立宗）

ルンビニー委員会

桑羽隆慈（浄土真宗本願寺派）

適切なる宗教教育実現のための

教育基本法第九条改正推進特別委員会

白幡憲佑（学識経験者）

哀悼

吉田公雄師（本会元評議員）

十一月十八日遷化 七十歳

岩手県仏教会元会長

曹洞宗元教化部長

金子泰嶽師（本会元税務委員）

十一月二十一日遷化 八十二歳

埼玉県佛教会常務理事

無料法律相談室



長谷川正浩本会顧問弁護士による、無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

「花まつり」ポスターのご案内

1部100円（最小5枚より）頒布希望の方はFAXまたは、はがきで下記を明記してお申込み下さい。

- (1)氏名
- (2)一般・ご寺院名)の別
- (3)希望枚数
- (4)郵便番号、住所
- (5)連絡先電話番号



申込先 全日本仏教会財務部
〒05-0011
東京都港区芝公園4-7-4
明照会館2階
電話 03-3437-9275
FAX 03-3437-3260

仏教伝道の旗印として仏旗を掲げましょう

全日本仏教会選定仏旗頒布のご案内



仏旗は、仏教徒がお釈迦さま（仏陀）の教えを守り、仏の道を行んでいく時の大いなる旗印となるものです。

本会では、先般より「全仏」誌及びパンフレットを通じ、第二回全日本仏教徒会議永平寺大会（一九五四年）で承認された国際仏旗（青・黄・赤・白・樺）の普及に努めてまいりましたが、依然として緑、黄、赤、白、紫の五色を用いた旗が仏旗として使用されていることが多く見受けられます。

つきましては、この度、全日本仏教会選定の、ポール掲揚用の三種類の大きさの仏旗と、卓上仏旗を作製し、さらなる普及に努めていくこととなりました。仏旗をお寺の門前は勿論のこと、会議・集会の折り、仏教伝道の旗印として掲揚して頂ければ幸いです。

また、卓上の仏旗は、仏壇や玄関、応接室などでご活用下さい。

お申込み・お問い合わせ

全日本仏教会事務総局

〒一〇五―〇〇―一

東京都港区芝公園四―七―四

明照会館二階

電話 〇三(三四三七)九二七五

FAX 〇三(三四三七)三二六〇

※ハガキ、FAXで申込み願います

仏旗バッチ 全仏輪袈裟



- 仏旗バッチ 500円
(縦2.5cm 横4.8cm プラスチック)
- 全仏輪袈裟 1,500円

全日本仏教会選定仏旗



- 大 5,000円(縦140cm 横210cm テトロン)
- 中 3,000円(縦 90cm 横135cm テトロン)
- 小 2,000円(縦 70cm 横100cm テトロン)

全日本仏教会選定卓上仏旗



- 2,500円
(高さ30cm テトロン 台座付き)

亀山法皇700年御忌記念 特別展「南禅寺」開催

●五山の上、京都東山の南禅寺より 寺宝約120件を展覧

大本山南禅寺は、亀山法皇が自らの離宮を禅寺にあらためたことを始まりとしています。本年700年御忌にあたり、南禅寺本坊や塔頭の寺宝を中心に特別展を開催いたします。

開催日：1月20日～2月29日
午前9時30分～午後5時
(月曜休館)

会場：東京国立博物館(上野公園内)
観覧料：一般1,200円
高校・大学生800円
小・中学生400円

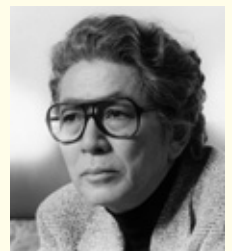
主催：大本山南禅寺他
問い合わせ：ハローダイヤル03(5777)8600
<http://www.asahi.com/event/>



(財)全日本仏教会主催 「人権啓発研修会」開催

●作家・五木寛之氏が『慈のこころ悲のこころ』と題し講演

日時：2月6日(金)13時受付～
会場：真言宗豊山派宗務所
東京都文京区大塚5-40-8
護国寺内
(地下鉄有楽町線護国寺駅)
講師：五木寛之氏
演題：『慈のこころ悲のこころ』
募集：400名(先着順)
参加費：無料
申込み：各加盟団体を通しての申込
受付となります



【問い合わせ先】

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館内
(財)全日本仏教会 同和推進部 小島・山本
TEL 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260